

コロナ禍における地域活動事例集

さがみはらのつながりアクション



新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域活動の多くが自粛せざるを得ない状況となりました。そうした中でも各地区では、「今、できること」を考えて感染防止対策を行い、工夫しながら新しい生活様式に合わせたつながりづくりが行われています。“さがみはらのつながりアクション”では、各地区で取り組まれた活動をまとめました。

各地区で取り組まれたアイデア満載の活動をヒントに、今後の地域活動を考えるきっかけにいただければ幸いです。

令和3年2月発行

社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会

相模原市社協
マスコットキャラクター



にこまる

感染予防対策 ～集いの場活動再開に向けて～

★“新しい生活様式”に合わせた感染予防対策

厚生労働省が発行する“新型コロナウイルス感染症に気をつけて通いの場を開催するための留意点”では、通いの場を開催するために、「**3つの密（密閉、密集、密接）を避ける**」、「**人と人との距離の確保**」、「**マスクの着用**」、「**手洗い**」が大切だと言われています。各地区では、集いの場の再開に向けて、感染予防対策の環境整備等に取り組まれています。



集いの場「千代田地区いこいの広場」「横山いこいの広場」（福祉コミュニティ形成事業）開催に向けて、“感染予防パネル”を活用
星が丘地区社協

地区内サロンやボランティアグループ等との情報交換を行い、活動再開に向け、必要な“感染予防対策グッズ”を支給
小山地区社協



見守り活動の「支え愛相武台」（福祉コミュニティ形成事業）担い手へ“感染予防対策グッズ”を支給

相武台地区社協

「ぶらっと上溝」活動チェックリスト

活動日： 月 日 事業名：

※□に☑をいれてください。

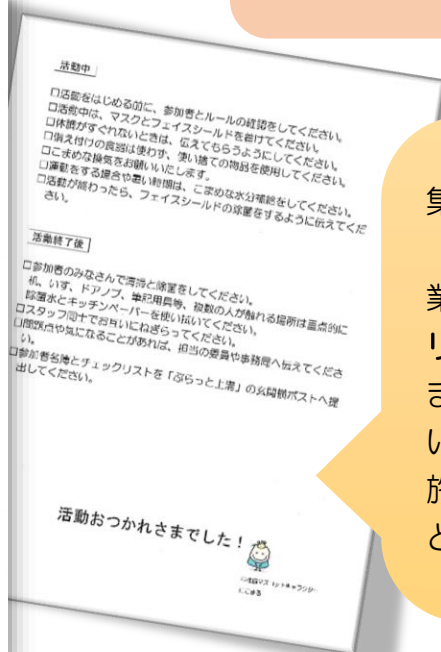
会場の準備

- 活動前に窓やドアを開け、換気をしてください。
- 参加者同士が可能な限り2mの間隔を保てるように椅子の配置などに配慮した会場づくりをしてください。

受付

- 参加者が一度に入室しないように、声をかけてください。
- 除菌水での除菌もしくは、石鹸を使った手洗いをするように声をかけてください。
- 別紙「参加者への確認事項」について確認してください。
- 参加者名簿の内容を確認して記入してください。
(参加者から感染者が判明した場合、保健所等での追跡を可能にするためのものです。感染者が出た場合は、保健所から提出を求められる場合がありますので、1か月程度は保存します。)
- 非接触体温計を使って参加者の体温をはかり、記録してください。
- マスクを持参していない参加者がいる場合、近くのお店で購入する等してマスクを着けてから参加してもらうよう伝えてください。
- フェイスシールドを持参していない参加者がいる場合、次回から持参してもらうよう伝えてください。(健康マージャンは、必ず着用する)
- 参加費は参加者が直接箱などに入れるようにお願いしてください。お金を入れた箱などは、活動終了後に除菌もしくは交換してください。
- 多くの方が触れるドアや手すり等は、随時除菌してください。

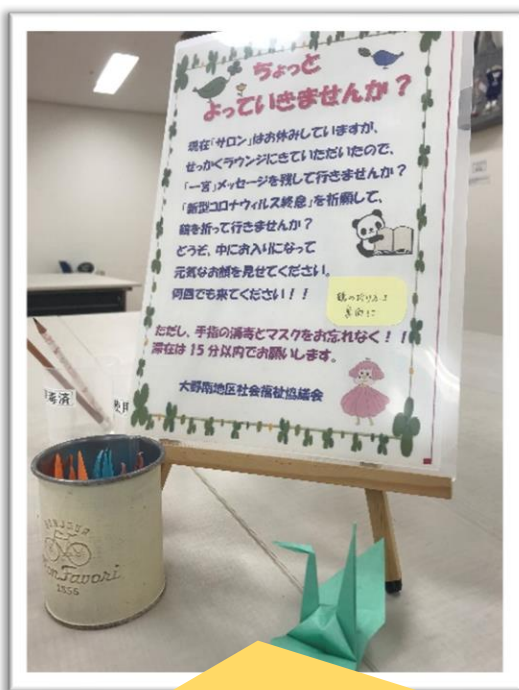
裏面に続きます



集いの場「ぶらっと上溝」（福祉コミュニティ形成事業）再開に向けて、チェックリストを作成。入室から退室まで順を追ってチェックしていくことで、感染症対策が実施できるよう分かりやすくまとめた。上溝地区社協

感染予防対策2 ～集いの場の活用～

★これまでの集いの場の会場を活用した取組



南区地域福祉交流ラウンジで開催する、地区社協の3つのサロン「みんなのサロン」、「コーヒー屋さん」、「ぼっかぽか」が新型コロナウイルス感染症の影響で中止の中、会場を立ち寄りどころとして活用。メッセージノートの設置やメッセージカードの掲示、コロナ終息を祈った折り鶴の募集を実施した。

大野南地区社協



集いの場ふれあいの家ぬくもり（福祉コミュニティ形成事業）の再開に向けて、コロナ禍でも工夫して実施できるプログラムを検討。人数制限や換気、座席の間隔を空けるなど感染予防対策を行い、ぬくもり喫茶や映画の日を実施した。

橋本地区社協



見守り

～離れていてもつながれる！手紙や届けものを通じて～

会えなくなっているサロン参加者や民生委員の見守りの対象者へメッセージカードを送るなど**直接会えなくてもつながれる**活動が行われました。

接触を避けて郵送も良いですが、活動者の運動も兼ねてポスティングやインターホン越しに会話するなど様々な方法が考えられます。

定期的に電話をかけて見守りを行う団体もありました。



コロナウイルスの影響で、各サロンは開催ができず、利用者とのつながりがなくなってしまおうとの声があった。

そこで、福祉協力員さんの絵手紙を印刷し、サロンの担い手から利用者へ配布した。

城山地区社協

毎年、地区社協で実施する“高齢者等見守り訪問事業”。今年は、訪問が難しいことから、方法をポスティングに変更。小学生の手紙や飴などを贈った。

大沢地区社協

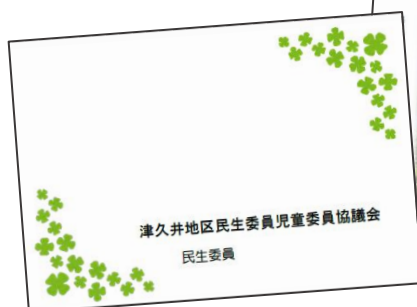


訪問が難しいからこそ、手紙を通じた見守り活動も！クリスマスカードや年賀状、民生委員が撮影した写真をハガキにするなど、各地区で工夫を凝らした手紙が送られた。ひとことメッセージを添えたり、緊急時の連絡先を記載したり。お返事が送られてきた！という嬉しい報告も。

横山・津久井地区民児協



夜間・休日急病で困ったときには
相模原緊急医療情報センター 042-756-9000
横山高齢者支援センター 042-751-6662
コロナかな？（発熱の時） 042-769-9237
横山地区民生委員・児童委員



屋外での活動～密を避けてつながろう～

★外出の機会減少による身体機能の低下（フレイル）対策

定期的に通っていた百歳体操、介護予防教室などの活動休止により、高齢者の身体機能の低下がみられます。外出の機会を絶やさないよう、各地区が屋外で楽しく活動する工夫を凝らしています。



高齢者支援センターが高齢者の体力低下対策として「散歩でビンゴ」を企画。散歩しながら見つけたものでビンゴを目指す。この手法を元に自治会独自でビンゴを作成し、民生委員と協力するなど広がりを見せた。

光が丘(高齢者支援センター×自治会×民児協)



「いきいきサロン相模台Ⅰ」

地区内の広場で参加者同士の距離を保ちながら音楽を楽しむ青空サロンを実施した。

相模台地区社協



生活の困りごとをお手伝いするちょっとボランティアは、室内で対面する活動は中止したが、屋外で行える活動（草取り・ごみ捨て・買物支援等）を中心に感染予防対策を行った上で活動を継続した。

相模湖地区社協

田名ふれあい交流農園は、コロナ禍でも感染予防対策を講じながら活動を継続。月2回の活動日は、交流を楽しみに多くの参加者で賑わっている。畑作業を通じた交流拠点として地域に根づいている。

田名地区社協



自宅でできる活動～ステイホームしながら地域とつながる～

★おうち時間で地域貢献

1回目の緊急事態宣言下、マスク不足が社会問題となっていました。そんな中、ステイホームしながら行えるボランティア活動“マスクづくりの輪“が各地区に広がりました。そのほかにも、自宅で楽しみながら地域とつながる活動が行われました。



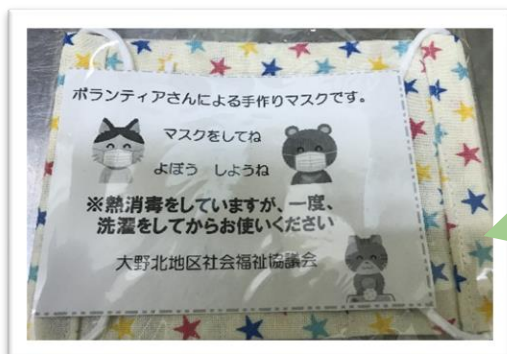
地区内でマスク作りボランティアを呼びかけ、新たな担い手発掘にもつながった。作成したマスクは、福祉施設や小学校、保育園等に寄付した。
星が丘地区社



ボランティアグループの「どんぐり」が手作りマスクを作成し、1枚100円で販売。売り上げは、福祉施設の活動に活用されている。

(1月末時点で約2,500枚作成)

城山(ボランティアグループ)



個人ボランティア・ボランティアグループ・地域活動支援センター等で作成
地区内保育園や学校等に寄付

大野北・中央地区社協

高齢者サロンが開催できない期間が長く続いたため、参加者自身で作る「手作りマスクキット」や塗り絵を配布し、ステイホーム期間を楽しむ活動を行った。

新磯地区社協



ネットの活用 ~オンラインでつながろう~

★感染リスクを避けたつながりづくり

高齢者サロンや百歳体操など、集いの場が休止や人数を減らした対応となる中、自宅にしながら気軽につながる手法として、オンラインを活用した活動が注目されています。

♪既に地域づくり部会をオンラインで開催している地区もあります。地区内の会議を試験的にオンラインで開催してみてもいいかもしれません。

♪福祉講座の開催をオンラインで検討し始めている地区もあります。



★オンラインアプリ「Zoom(ズーム)」を活用した子育てサロンの開催を検討中!

コロナの影響で「子育て世代が集まれる場が減っている」、「情報交換ができなくて不安」といった子育て世代の保護者の声を主任児童委員さんがキャッチ! オンラインでも楽しめるイベントができないか、保健師さんの相談コーナーができないか…など開催できる方法を検討し始めている。

大野北地区社協

認知症カフェの担い手や参加者がオンラインアプリ「Zoom」を活用し、自宅にしながらオンラインカフェを開催

大野南(さがっばとTea time)
麻溝(ふらっとカフェ)
東林(のんびりカフェ)



地域活動拠点ひだまり相武台(福祉コミュニティ形成事業)では、ネット環境を整備し、今後オンラインを利用した地域活動の拠点として活用予定

相武台地区社協

介護予防 ～自粛中の介護予防に関する取組～

百歳体操等の介護予防活動が休止となったことや、感染症を心配し外出を自粛する人が増え、高齢者のフレイル（心身の機能の低下がみられる状態）が心配されています。

住民団体や高齢者支援センター等で、感染症に配慮した介護予防活動の推進が取り組まれています。

★麻溝健康プロジェクトニュースレター

★アマビエプロジェクト

麻溝健康プロジェクト Vol. 01
ニュースレター
発行：麻溝健康プロジェクト 2020年11月

**長引くコロナ自粛
フレイル*1にご注意を！**

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、外出の自粛が広まり、地域の様々な取組も活動を中断しています。

外出を控えることによって、「気分の落ち込み」「閉じこもり」「筋力低下」「食欲不振」など健康リスクが増大し、**フレイル（*1心身の機能の低下がみられる状態）の進行**が心配されています。

日頃から自分の健康状態をチェックする習慣を身につけ、**コロナも介護も予防**していきましょう！

次のページでフレイルチェックのプレゼント企画があるよ

健康 フレイル 要介護状態

この紙面は地域で介護予防活動に取り組む「麻溝健康プロジェクト」の皆様で作成しました。今後もご自宅で取り組む介護予防を応援する「麻溝健康プロジェクトニュースレター」を発行していきます。次号もご期待ください！

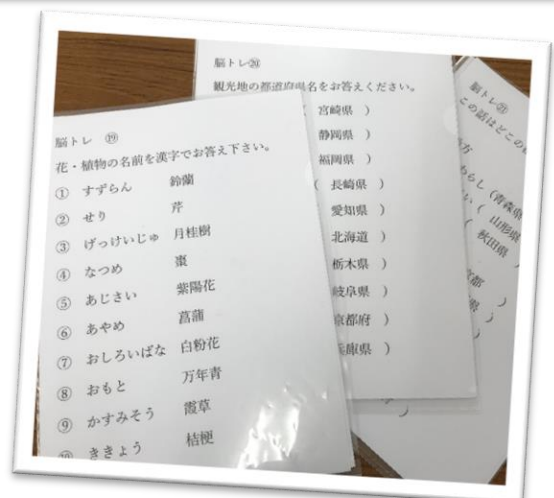
フレイル予防と認知機能の低下した人の把握目的に、交流スペースに大きなアマビエのポスターを掲示。来所者がウロコに見立てたメッセージカードを貼り付けることで交流を図るほか、週替わりの脳トレクイズ等の配布を実施

大野中高齢者支援センター



集まったの介護予防活動が自粛となる中、自粛下の活動を各団体の担い手同士で検討。結果、自宅で取り組める介護予防活動を記載したリーフレットを地区内のシニアサポート活動団体等の介護予防団体が協働で作成した。

麻溝地区



学校との連携

～コロナ禍で育む 子どもたちと地域の絆～



♪上鶴間中学校吹奏楽部 クリスマスコンサート
地区内のマンション「相模大野ハイツ」の住民有志で構成する見守り団体「助け合いの会」と交流活動団体「ふれあいの会」が、新型コロナウイルス感染症の影響で演奏の機会がなくなってしまった上鶴間中学校吹奏楽部とのコラボ企画を実施。外出や交流の機会が減るマンション住人のためにマンションのエントランス前でクリスマスコンサートを開催。マンションの住人は、ベランダや廊下から演奏を楽しんだ。 **東林地区(地域団体)**

★パラ競技をきっかけに地域活動学ぶ

田名小学校福祉教育

緊急事態宣言後、身近な地域のつながりを再検討。事前の検温や消毒等感染予防対策を十分に行い、民児協・老連の協力のもと、地元の小学校と障がい者スポーツ「ボッチャ」の体験を通して交流を行った。併せて、田名ボランティアセンターによる「ボランティア」に関する授業を実施。ボランティア活動の紹介を通して、ボランティア活動が「より良い地域」や「幸せなまちづくり」につながることを学び、小学生自身にとっての「ボランティア」を考えるきっかけとなった。

田名地区社協



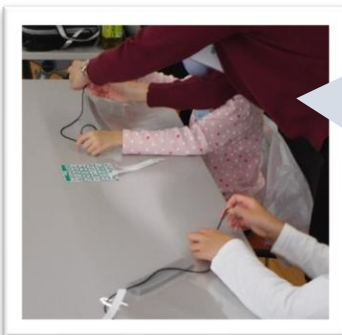
*地域と生徒をつなぐ 交流拠点の花植え活動
集いの場コミュニティよこやま憩(福祉コミュニティ形成事業)の花植え作業に、感染予防対策を十分に行い、清新中学校の生徒が参加。日頃から地域のボランティアによって手入れされている花壇に中学生の力が加わり、綺麗な花を咲かせている。通りかかった人誰もが楽しむことができ、心を癒してくれた。

横山地区社協

情報提供 ～今、必要な情報を発信する～

★「with(ウィズ)コロナ」を安全に楽しむ情報提供

with コロナの時代を安全に楽しく活動をするを見据え、各地区が様々な情報提供を行っています。



子ども向け事業やボランティア交流会でフェイスシールドの作成体験を実施。感染予防対策グッズの活用方法について情報提供を行った。

小山地区社協

サロン・ボランティアグループ合同連絡会を開催し、コロナ禍における感染予防対策や、今後の活動に向けて「集まらなくてもつながる方法」や「市内の工夫した活動紹介」など情報提供を実施

清新地区社協

集まらなくても つながる方法

3つの密（密閉、密集、密接）を避けながら、「今できることは何か」「形を変えて行動できない家や活動自体もありません。どうもつながる方法を4つ

電話で

オンラインで

安心して参加できるサロンを考えてみる！

みんなが参加者の声に耳を傾けることはとても大切なことです。でも、急いで再開する前に、**参加されるみなさん**が安心して参加できるサロンを考えることも重要です。

中には、再開に不安を感じている人もいます。最低限のルールを設けたり、分かりやすく周知して感染症対策についてみんなで話し合ったりすることで安心して参加することに繋がります。

感染症対策 へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含むエチケット」です。

①手洗い 正しい手の洗い方



②咳エチケット 3つの咳エチケット



正しいマスクの着用



首相官部、厚生労働省

厚労省



ステイホームしながら楽しめる地域の情報（テイクアウトのお店や出張理美容など）や、公共交通機関以外の移動手段についての情報（介護タクシー等）などをまとめた情報誌を作成中

新磯地区地域づくり部会

作品募集



コロナ禍で「元気をもらったこと」「思わず笑顔になったこと」の作品を募集する『元気になろうプロジェクト』を実施。手芸作品やイラスト、川柳など応募作品は、171点におよび、今後作品集の作成や作品展の開催を検討中 中央地区社協



地区内在住・在学の小中学生を対象に、新しい生活様式の中での想いを伝える川柳を募集
 応募者には参加賞を用意し、作品は、地区社協広報紙に掲載する予定 城山地区社協



子育て世代への取り組み

コロナ禍で子育てサロンが休止中、今後のサロンの進め方を検討するため、保護者に対しコロナ禍での親子の過ごし方などのアンケートを実施した。ほとんどの方が不安や心細さを感じていると回答。不安のある保護者に対し「なんでも相談会」を実施した。また、おうちで楽しめる塗り絵を配布し、クリスマス時期に公民館で展示した。 藤野地区社協

ミルククラブ再開に向けたアンケート

現在、新型コロナウイルスの感染拡大予防により、地区地域の「ミルククラブ」が休止しています。再開できる日に向けて準備を進めていきたいと思います。つきましては、現在の皆さまの過ごし方やご意見を伺ってお聞かせください。

1. (1) 新型コロナウイルス感染拡大によって生活の制限がある中、不安なことや心細さを感じていますか。

1	2	3	4	5
とても強く感じる	強く感じる	感じる	少し感じる	あまり感じない

(2) (1)で、1～4と回答された方にお聞きします。不安や心細さを感じる理由は何ですか。(複数回答可)

- ① 家庭以外の遊び場がない
- ② 他の人と接する機会が少ない
- ③ 子どもにストレスがたまっている
- ④ 子どもとの生活リズムが乱れている
- ⑤ どのように過ごせばよいかわからない
- ⑥ 家庭内にも協力がない
- ⑦ 周囲に相談できる人がいない
- ⑧ 子育てに関する情報が入っていない
- ⑨ その他

現在、藤野総合事務所内で行われている親子サロン(月1)やミルククラブ(週2)が休止されていますが、他の親子が楽しめる場や子どもの遊び場等へ行っていますか。

差し支えなければ場所を教えてください。

① 子どもが進める場・交流する場へ行っている → (例えばどこへ行っていますか)

